

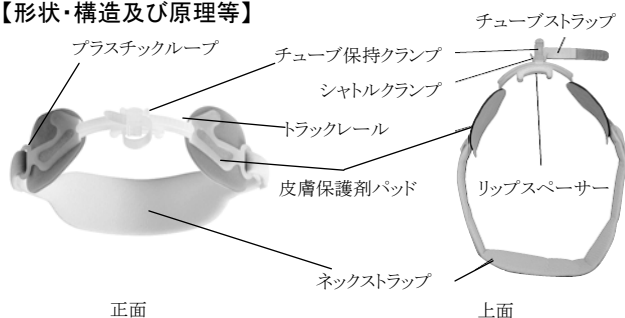
機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 カテーテル固定用パッチ(JMDNコード:70328000)

アンカーファスト

再使用禁止

【禁忌・禁止】
・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】



【皮膚に接触する部分の原材料】

皮膚保護剤パッド：ハイドロコロイド

リップスペーサー：発泡エチレン・酢酸ビニル共重合体

ネックストラップ：ポリエステル、ナイロン

ネックストラップは補充等のため、単品にて販売する場合があります。

使用可能なチューブの内径5～10mm

【使用目的又は効果】

気管内チューブの固定及び維持管理

【使用方法等】

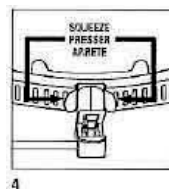
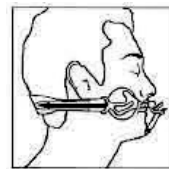
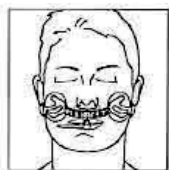
【装着の前に】

患者の装着部の皮膚を清拭し、よく乾燥させ脂分が残らないようにする。

注意 スキンジェルやローションなどは使用しないこと。

【装着方法】

- 左右二つの皮膚保護剤パッドから剥離紙をはがす。本品を、フォーム状リップスペーサーがちょうど上唇の上の皮膚に軽く触れるように置いて位置決めをした後、両方の皮膚保護剤パッドを皮膚にしっかり押し付け、そのまま約30秒間保持する。このときチューブ保持クランプは上唇の約13mm下方に位置している。(右図1)
- ネックストラップを首に巻き片方の端を皮膚保護剤パッドの上にあるプラスチックループを通して面ファスナーを仮止めする。ネックストラップに緩みやたるみがないように調整し、左右の面ファスナーを均等にしめる(右図2)。このとき、きつく締め過ぎないように注意する。首とネックストラップの間に人差指と中指が入る程度の遊びがあることを確かめる(右図3)。
- シャトルクランプの両側のタブをつまみ、内側に押さえたままトラックレール上を移動させ、気管内チューブのちょうど真上に来るようにする(右図4)。チューブストラップの剥離紙をはがし粘着剤を露出させる。



気管内チューブの表面がよく乾いて汚れが付着していないことを確かめた後、チューブストラップをしっかり気管内チューブの周りに巻き、残りの部分を引っ張ってチューブ保持クランプに置き、上蓋をカチッと音がするまで閉じて固定する(右図5)。

チューブを固定する際に、チューブ保持クランプ下部の滑り止め用グリップの下に直接、気管内チューブのインフレーション用ラインを置かないように注意すること。

【維持管理】

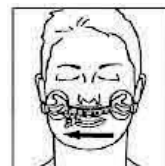
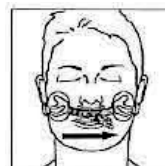
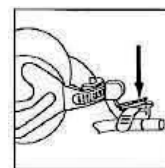
圧迫による皮膚や唇の損傷を避けるために気管内チューブを定期的に移動させる場合には、シャトルクランプの両側にあるタブをつまんだまま内側に押さえるとロックがはずれ、気管内チューブをトラックレールにそって左右いずれの方向へも動かすことができる(右図6)。

【取り外し】

チューブ保持クランプのタブを手前に押して上蓋を開く。チューブストラップを慎重に気管内チューブから剥がす。次に、ネックストラップの面ファスナーを剥がす。最後に、両方の皮膚保護剤パッドをやさしく皮膚から剥がして本品を取り去る。

【使用上の注意】

- 固定器具であることから、使用時に本品により過度な圧力が発生した場合、患者の皮膚損傷、組織虚血や壊死を引き起こす場合がある。
- 製品の組立てや装着が不適切な場合には、低換気障害や誤嚥を引き起こす危険性が高まる。
- 次のような場合には適用を慎重に検討すること：出歯の場合、歯科インプラント装着の患者の場合、歯がないか上の総義歯を取り付けられない患者で気管内チューブの使用に際して上顎の支持が得られない場合、厚く腫れた唇の患者の場合、歯科装置を装着している場合、顔がひどく腫れた患者の場合。
- チューブを固定する際に、チューブ保持クランプ下部の滑り止め用グリップの下に直接、気管内チューブのインフレーション用ラインを置かないように注意すること。
- 本品を装着後も、本品及び気管内チューブがしっかりと正しく取り付けられているか頻繁に確認すること。
- 圧迫性の損傷を避けるため、少なくとも2時間に1度、または必要に応じより頻繁に、患者の唇や皮膚に異常がないか確認すること。
- 患者によって着用時間が異なるため、上記にかかわらず、必要な頻度で患者の状態を確認すること。
- 気管内挿管時に、口腔内における他の製品や機器(例、栄養チューブ、気管支ファイバースコープ等)を使用する場合には、本品が外れないように注意すること。
- 患者の頭部、首、身体的位置や固定器具の位置を変える最中やその後には必ず、本品の位置と挿管の深さ、気管内チューブや他の気道器具の開存性を再度確認すること。



- 顔が毛深い患者においては、皮膚保護剤の粘着が弱くなることもある。
- 位置調整のために気管内チューブを遠位または近位側に繰り返し動かすとチューブストラップの粘着力が弱まることもある。
- 皮膚の発赤やかぶれが認められたら、すぐに使用を中止すること。
- 本品は小児には使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

（保管方法）

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿、凍結を避けて保管すること。

（使用期限）

使用期限は個包装に記載〔自己認証(当社データ)による〕

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売者：株式会社ホルスター

製造業者：ホルスター社（米国）

：Hollister Incorporated (USA)